

「沖縄21世紀ビジョン(仮称)」 (案)の概要

平成22年2月
沖縄県企画部

「沖縄21世紀ビジョン(仮称)」(案)の構成

【第1部】

- 1 はじめに
- 2 基本理念
- 3 めざすべき将来像
- 4 将来像実現に向けた推進戦略
- 5 克服すべき固有の課題と対応方向
- 6 ビジョンの実現に向けて

【第2部】 将来像実現に向けた展開方向

【第3部】

- 1 沖縄経済の現状と可能性
- 2 時代潮流
- 3 県民アンケートの概要

第一部

- 1 はじめに
- 2 基本理念
- 3 めざすべき将来像

1 はじめに (P1-2)

(1) 復帰38年を経た今日の沖縄

(2) 沖縄を巡る情勢

(3) ビジョン策定の意義

(4) ビジョンの構成

2 基本理念 (P3-4)

(1) 基本理念

21世紀に求められる人権尊重と共生の精神を基に、“時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな「美ら島」おきなわ”を創造する。

(2) めざすべき五つの将来像

- 1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
- 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- 3 希望と活力にあふれる豊かな島
- 4 世界に開かれた交流と共生の島
- 5 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

(1) 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島 (P5)

(県民が望む将来の姿)

- ・ 私たちは、沖縄らしい自然や風土の下、年間を通して温暖な気候とゆったりとした時間の流れの中で暮らしている。
- ・ 豊かな自然の残る美ら島では、青い海と白い砂浜が広がり、自然の海岸線が続いている。自然海岸と連なるサンゴ礁により、イノー(礁池)の穏やかさが守られている。
- ・ 美ら島には緑豊かな森林が広がり、多くの固有種や希少種が生育する、生物多様性に富んだ自然環境が守られている。また、亜熱帯の花や緑は、島の美しさを一層引き立てている。
- ・ 沖縄らしい自然や風景を求めて、国内外から多くの観光客が訪れており、私たちに物心両面での豊かさをもたらしている。
- ・ 私たちは「自然は貴い資源」との考えを共有しており、環境に優しい社会づくりの意識は、最先端の地球温暖化対策など世界的な環境モデル地域を形成し、世界的にも注目を集めるエコアイランドとして情報発信されている。
- ・ 琉球王朝時代より培われてきた伝統文化や伝統行事等が連綿と受け継がれ、私たちの暮らしの中に息づいている。この独特の文化は、沖縄に暮らす私たちのみならず、世界中で活躍するウチナーンチュの意識と誇りの源となっている。
- ・ 私たちは、伝統文化を守り継承するのみならず、多様性と普遍性を受け入れ、新たな文化を創造している。

(1) 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島

・基本的課題 (P6-8)

- 1) 自然環境の保全と再生・創造
- 2) 世界に誇れる環境モデル地域の形成
- 3) 独特の歴史、伝統、文化の復興と創造
- 4) 沖縄らしい風景・景観とまちづくり

・推進戦略 (P24-25)

- 1) 沖縄グリーンイニシアティブ
- 2) 沖縄伝統文化・芸術の創造と活用
- 3) 千年悠久のまちづくり

(2) 心豊かで、安全・安心に暮らせる島 (P9)

(県民が望む将来の姿)

- ・ 私たちは、豊かな心と健康な体を持ち、平和で安全に暮らしている。誰もが生きがいを持ち続け、十分な医療や福祉が受けられ、世界一の健康・長寿を維持している。
- ・ 沖縄は「健康・長寿の島」として、多様性に富む自然や伝統文化等の癒しの風土と、健康長寿を支える食文化とともに、世界中に発信されている。
- ・ どこでも、安心して子どもを生み育て、十分な教育を受けさせることができる。子ども達は「島の宝」として大切にされ、希望と喜びに満ち、地域社会の温かさの中で健やかに育っている。
- ・ 性別、年齢、障害の有無等を問わず、地域、家庭、職場などあらゆる場所で活躍できるバリアフリー社会が構築されている。
- ・ 広大な海域に点在する島々では、それぞれの環境と伝統を尊重し、島特有の暮らしが守られている。島々の個性は、島しょ圏 沖縄の多様性と奥深さをもたらし、沖縄全体の価値を高めている。私たちは、沖縄を構成する一つひとつの島の暮らしが大切であることを共有しており、互いに助け合っている。
- ・ 長い歴史の中で培われてきた家族や地域との絆を大切にする文化や習慣は、肝心(チムグクル)、イチャリバチョーデー、ユイマール等の「沖縄の心」として受け継がれ、人の和、地域の和を大切にする社会を形成している。
- ・ 「沖縄の心」は、地域社会の一体感を醸成し、相互に協力し合うことで、共助・共創型の安全・安心社会が実現している。

(2) 心豊かで、安全・安心に暮らせる島

・基本的課題 (P10-12)

- 1)健康・長寿の復活
- 2)安全・安心な暮らしの実現
- 3)個性豊かな地域社会づくり

・推進戦略 (P25)

- 1)食・風土・技術を活かした健康・長寿地域づくり
- 2)セーフティーネット(安全網)の形成
- 3)共助・共創型地域づくり

(3) 希望と活力にあふれる豊かな島 (P13)

(県民が望む将来の姿)

- ・ 心の豊かさだけでなく、経済的な豊かさも実感し、将来に希望を持って生活。
- ・ 日本とアジア・太平洋地域との架け橋として空港・港湾及び国際交通ネットワークが整備され、国内外との人・モノ・情報の多様なネットワークによる物流・情報・金融の拠点が形成。
- ・ 科学技術の拠点として新たな産業が興り、自立的な経済社会が形成。
- ・ 地場産品が沖縄ブランドとして広く認知されており、地域に根ざした産業が個性と活力にあふれた持続可能な発展を支えている。
- ・ 島しょ圏を構成する島々では、我が国唯一の亜熱帯性気候を活かした農林水産業が盛んで、観光産業等の地域産業と連携した総合的な産業として展開。
- ・ 私たちは雇用に不安がなく、働く意欲と能力にふさわしい仕事がみつかるなど、安定した雇用環境が整備。
- ・ 大規模な米軍基地の返還が実現。この返還跡地を活用し平和で豊かに暮らしている。
- ・ 沖縄本島内には、南北を縦断する鉄軌道等の新たな公共交通システムが導入。

(3) 希望と活力にあふれる豊かな島

▪ **基本的課題**(P15-17)

- 1)21世紀の「万国津梁」形成
- 2)地域に根ざした産業の振興
- 3)沖縄を牽引する新しい産業の育成
- 4)雇用の創出と人材の確保
- 5)離島力の発揮
- 6)基地返還跡地の活用
- 7)資金の確保

▪ **推進戦略** (P26-28)

- 1)21世紀の「万国津梁」形成
- 2)持続的発展の基礎となる地域産業の振興
- 3)沖縄新・リーディング産業の育成
- 4)雇用対策と多様な人材確保
- 5)海洋島しょ圏を支える離島力の発揮
- 6)大規模な基地返還跡地の活用
- 7)政策金融の活用

(4)世界に開かれた交流と共生の島 (P18)

(県民が望む将来の姿)

- 私たちは、長い歴史と文化の中で育まれてきた風土や「沖縄の心」を大切にし、日本とアジアの架け橋として双方の発展に貢献。
- 開放的で国際色豊かな風土と、異文化を受け入れる寛容性やホスピタリティあふれる「沖縄の心」を受け継いでいる。
- 沖縄では、アジアの中心に位置する地理的特性を活かし、多様な交流が盛ん。
- 沖縄科学技術大学院大学を核とした国際的な研究機関が集積し、多くの研究成果を活かした新産業が創出されている。
- 私たちは、国益・地球益に寄与する地域として、世界の島しょ地域における環境、防災技術の発信など国際貢献を進めている。
- 「命どう宝」など平和を愛する「沖縄の心」を世界に発信。こうした取り組みは、世界からも注目され、世界平和の発信拠点として、国連機関等の集積にもつながっている。

(4) 世界に開かれた交流と共生の島

・基本的課題 (P19-20)

- 1) 外交における沖縄の役割発揮
- 2) 国際交流と共生のネットワークづくり
- 3) 科学の振興と世界への協力・貢献
- 4) 平和の発信と世界平和への貢献

・推進戦略 (P29)

- 1) 沖縄が担うべき地域外交
- 2) 人・知識・文化の融和する海邦交流拠点形成
- 3) 科学の振興と知の集積による国際交流拠点形成
- 4) アジア・太平洋「平和協力外交地域」形成

(5)多様な能力を発揮し、未来を拓く島 (P21)

(県民が望む将来の姿)

- ・ 私たちは、島しょ圏 沖縄において、「人材こそが最大の資源」との考えを共有。
- ・ 人材の育成は、心豊かな人間を育てることにはじまり、家庭と地域が連携して、幼い頃よりけじめや躰など人間教育を行っている。また、地域の自然や歴史、伝統、文化を伝え、地域を大切にし、誇らしく思う人間を育てている。
- ・ 充実した教育環境の下、子ども達は地域への誇りを持ち、大きな夢と目標を抱いて生き生きと学んでいる。
- ・ 沖縄の学力や進学率など教育水準は高く、語学教育が充実している。高校卒業時までには二カ国語以上が話せるようなカリキュラムが生まれ、世界で活躍できる人材を輩出。
- ・ 誰もが、学びたい時に学べる環境が整い、学べる喜びをいつまでも享受。
- ・ 沖縄がめざすべき方向性を見据え、戦略的な方針を共有しつつ人材を育成。多様な分野においてグローバルな視点で地域を支えていける人材を育成。
- ・ 新しいことにチャレンジできる環境、再チャレンジしやすい環境の下、私たち一人ひとりが個性と能力を存分に発揮し、生きがいを実感し続けている。

(5) 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

・基本的課題 (P22-23)

- 1) 人間形成を重視する教育
- 2) 個性を育む教育
- 3) 沖縄の活力を生む人材育成

・推進戦略 (P30)

- 1) 人権尊重と共生
- 2) グローバルな教育先進地域づくり
- 3) 「海邦養秀」の拠点形成

※ 海邦養秀とは、国学を創建した当時の琉球国王の尚温が掲げた建学の精神で、「海に囲まれた邦の優れた人材を育成する」という意味

克服すべき沖縄固有の課題と対応方向

(1)大規模な基地返還とそれに伴う県土の再編

●大規模な基地返還跡地 (P31-35)

- ・沖縄の8割以上の人口が集中する中南部都市圏において大規模(1,000～1,500ha)な基地返還を予定。このため、大規模な跡地利用を円滑・最適に進めるため、特別立法を含む新たな仕組み・法制度の創設を図る。
- ・基地返還跡地を活用した軌道系を含む新たな公共交通システムや骨格的な道路網の整備により、都市交通ネットワークの再編・構築と交通結節機能を形成する。
- ・国連機関の誘致などによる国際貢献・協力機能、国内外大学との連携によるサテライト大学、リサーチパーク等の拠点形成を図る。

克服すべき沖縄固有の課題と対応方向

(2)離島の新たな展開 (P36-37)

①生活基盤の充実強化

- ・教育、保健・医療、交通、情報通信、水の確保や廃棄物処理など、各種生活基盤の充実強化
- ・安心して子供を生み育て、教育を受けさせ、かつ割高な生活コストの低減など、離島に住み続けることができる条件を抜本的に整える
- ・電線の地中化など、防災対策の強化
- ・交流人口増大による地域の活性化 など

②離島が持つ総合力の発揮

- ・航路・航空路の運賃低減化に向けた新たな仕組みづくり
- ・農林水産業と観光産業の連携強化による「離島の魅力」発信を強化

- ・良質な観光と地域が潤う仕組みづくり
- ・脆弱な自然環境に配慮

- ・我が国の領海、排他的経済水域等の確保や貴重な海洋資源の賦存等を踏まえ、国土に準ずる重要な地域として、その保全・管理・振興に対する新たな枠組みの導入
- ・定住支援はもとより、近隣諸国との文化・経済的交流等を強化し、圏域全体の発展に繋げていく

克服すべき沖縄固有の課題と対応方向

(3)海洋島しょ圏 沖縄を結ぶ交通ネットワークの構築

(P38-41)

①交通体系の整備

- ・広大な海域に散在する島々を結ぶ交通手段が海路と空路に限られ、そのコストは人的・物的移動の大きな障害となっている。このため、航路・航空路の運賃低減化を図る新たな仕組みの構築

②交通体系の整備にあたっての重視すべき視点

- ・低炭素島しょ社会の実現
- ・少子高齢化・人口減少社会への対応

克服すべき沖縄固有の課題と対応方向

(4)沖縄における地域主権と道州制のあり方 (P42-44)

①地方分権から地域主権への進展

②将来像実現に向けた地域主権のあり方

③将来像実現に向けた道州制のあり方

・新しい国の形を先導する「沖縄単独州」のあり方を検討

ビジョンの実現に向けて (P45-46)

(1) 県民、市町村・県の協働体制

- ・ 県民との協働
- ・ 企業との協働
- ・ 市町村との連携
- ・ ユイマールの新たな仕組みづくり

(2) 国と県の役割

- ・ 不均衡状態にある安全保障体制の是正
- ・ 島しょ経済の克服の努力と制度の充実
- ・ シマチャビ克服の努力と支援措置

(3) ビジョンの実現に向けた計画づくり

第二部

将来像実現に向けた展開方向

(1) 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島

1) 沖縄グリーン・イニシアティブ (P47-49)

- ・環境の持続的活用に向けたルール・仕組みづくり
- ・先進的な自然環境の保全・再生・創造

2) 沖縄伝統文化・芸術の創造と活用 (P50-51)

- ・命どう宝、ユイマール、イチャリバチヨーデーなど、沖縄の文化を保全・継承
- ・伝統文化・芸術など、多様で魅力ある文化資源をさらに発展させて文化産業を戦略的に創造・育成

3) 千年悠久の人間に優しいまちづくり (P51-53)

- ・沖縄固有の景観・風景・風土を重視し、時間とともに価値が高まる「価値創造型のまちづくり」の実現
- ・高齢化社会、脱自動車社会等に対応した「人間優先のまちづくり」

(2) 心豊かで、安全・安心に暮らせる島

1) 食・風土・技術を活かした健康・長寿地域づくり (P54-55)

- ・世界に誇れる「健康・長寿おきなわ」の実現
- ・伝統的食文化等の健康資源の活用、統合医療や高度先進医療の導入

2) セーフティネット形成 (P55-57)

- ・「健康福祉セーフティネット」の整備
- ・「子育てセーフティネット」の整備と少子化対策
- ・大規模災害など、社会的重大リスクを軽減するための仕組みづくり
- ・米軍基地から派生する事件・事故等に対する県民の「安全・安心確保」、日米地位協定の抜本的見直しなど

3) 共助・共創型地域づくり (P58-59)

- ・地域社会、NPO、行政等の連携による「共助・共創型まちづくり」

将来像実現に向けた展開方向

(3) 希望と活力にあふれる豊かな島

1) 21世紀の「万国津梁」形成 (P60-61)

- ・情報通信基盤、空港、港湾の整備や機能拡充と国内・国際交通ネットワークの新たな展開とコスト低減
- ・GIXなど国際情報通信ハブ機能の強化に向けた取り組みと国際物流関連企業の集積、先導的科学技术拠点の構築など先端的研究機関等の集積

2) 持続的発展の基礎となる地域産業の振興 (P61-63)

- ・野菜、花卉、肉用牛など拠点産地の育成と流通・販売・加工対策の強化、観光関連産業との連携による沖縄ブランドの確立

- ・総合的な中小企業対策の推進、異業種との連携による地域資源を活用した新商品開発、ベンチャー企業の育成など地域産業の振興

3) 沖縄新・リーディング産業育成 (P64-69)

- ・観光客等を世界から呼び込む核となる世界水準の「デスティネーションリゾート」の形成
- ・情報サービス、ソフトウェア開発、コンテンツ制作、金融など情報通信関連産業のさらなる高度化・多様化
- ・沖縄科学技術大学院大学を核とした「知的クラスター」の形成とライフサイエンス、医療・健康分野の新たな産業創出
- ・国際物流拠点の形成促進と新たな臨空・臨港型産業の集積

- ・気候変動など様々な環境変化に対応できる新技術を活用したフロンティア型の農林水産業の振興
- ・環境関連産業を沖縄の基幹産業として振興
- ・エネルギー、鉱物、生物資源など、海洋資源の開発促進

4) 雇用対策と多様な人材確保 (P69-70)

- ・多様な雇用の場の確保、ミスマッチの解消、就業支援など、安心して働ける「雇用セーフティーネット」の確立
- ・若者、高齢者、女性等の就業促進
- ・国内外から「頭脳人材」の受け入れるための環境整備

5) 海洋島しょ圏を支える離島力の発揮 (P71-72)

- ・ 物流コスト等の条件不利性やシマチャビの解消等、定住支援
- ・ 我が国のEEZや豊富な海洋資源の賦存など、国益を担う地域としての新たな位置づけと離島力を高めていくための取り組みを促進

6) 大規模な基地返還跡地の活用 (P72-73)

- ・ 県土の枢要部分を米軍基地に占有されたことによって生活環境、交通インフラなど様々な面で歪んだ都市構造を再生し、人と自然が調和する良質な生活空間を回復
- ・ 返還跡地の有効利用による自立経済の構築
- ・ 円滑な事業実施を可能とする跡地整備の仕組みや法制度等の創設

7) 政策金融の活用 (P74)

将来像実現に向けた展開方向

(4) 世界に開かれた交流と共生の島

1) 沖縄が担うべき地域外交 (P75)

- ・我が国の国際貢献の一翼を担い、アジア・太平洋地域との交流や世界各地とのネットワークづくり等の取り組み

2) 人・知識・文化の調和する海邦交流拠点形成 (P75-76)

- ・アジア・太平洋地域との多元的なネットワーク構築によるビジネス機会の拡大

3) 科学の振興と知の集積による国際貢献拠点形成 (P76-78)

- ・食糧、エネルギー、医療など多くの課題に直面する国際社会への貢献に向けて、様々な分野における技術の高度化や研究機関の集積等を図る
- ・環境、エネルギー、水、医療、防災、防疫等のアジア・太平洋地域の共通課題への協力・貢献

将来像実現に向けた展開方向

(5) 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

1) 人権尊重と共生 (P80-81)

- ・互いに人権を尊重し、支え合える心豊かな社会に向けて学校、地域の協働・参画により、個性を持った人づくりの推進

2) グローバルな教育先進地づくり (P81-82)

- ・自ら学び考えるなど、豊かな人間性、健康と体力、確かな学力からなる「生きる力」の育成
- ・理解力、判断力、人間力等を重視し、「国際性」と「個性」を涵養する教育システムの確立

3) 「海邦養秀」の拠点形成 (P82-83)

- ・地域産業を支える人材の育成
- ・新リーディング産業を支える高度な専門人材の育成

第三部

- 1 沖縄経済の現状と可能性
- 2 時代潮流
- 3 県民アンケート等の概要

1 沖縄経済の現状と可能性 (P84-105)

- (1) 地域特性を活かす経済活動と特色ある産業構造
- (2) 低下している基地経済の比重
- (3) 低下傾向にある公的支出の構成割合
- (4) 進んできた社会資本整備の状況
- (5) 厳しい雇用情勢と豊富な労働力
- (6) 一人当たり県民所得の水準
- (7) 人口増加がもたらす2020年までの経済成長予測
- (8) 今後の展開
- (9) 補足 終戦から復帰までの沖縄の状況

2 時代潮流 (P106-109)

- (1) 少子・高齢化・人口減少の到来
- (2) 温暖化など地球規模での環境変化の深刻化
- (3) グローバル化の進展とアジアの経済発展

3 県民アンケート等の概要 (P110-117)

- (1) 県民アンケートの概要
- (2) 市町村ワークショップの概要
- (3) 高校生作文コンクールの概要
- (4) 観光客アンケートの概要